

〔中学校〕次年度に向けての課題・改善点(具体的な改善案)

学校便りや学級便り・HP等を活用した情報発信、保護者や地域との連携について【13校】

- ・保護者や地域と連携した取組ができるよう、情報発信の方法について工夫する。(5校)
- ・学級便りを活用して、学校や学級の「取組」を発信できる。学級便りに、いじめ(の題材)について書くことがなかったので「人権問題」について考えたことなどを発信したい。(3校)
- ・生徒会主体の人権に関わる活動を実施し、情報発信する。
- ・生徒だけでなく、保護者への啓発的な取組を積極的に行うことが必要である。近年の傾向として、スマホやSNS関連の学習や研修を教職員や保護者向けに積極的に行うことが必要である。
- ・学校としてはできているが、個々の教職員としては立場によって発信する場が少ない者もいた。
- ・いじめ防止基本方針の共有が不十分であったように感じる。いじめの問題(特にSNSを通じたいじめ)に対して、全保護者参加の研修会や啓発活動を行ってれば、SNSを通じたいじめ事案が起きなかったと思う。
- ・内容が難しく、発信することに抵抗がある。発信するのであれば、共通理解をもって発信する必要があるため、道徳や人権旬間期間に統一したものを発信することから始める。

校内研修会の充実、校外研修会への積極的な参加について【13校】

- ・生徒指導に関する研修で得た情報を校内で時間をとって共有することができなかった。生徒指導主事が中心となって研修会を行っていく必要がある。(2校)
- ・教職員の研修を実施し、対応に活かせるようにする。校外の研修にできるだけ参加する。(7校)
- ・校外の研修等に積極的に参加する時間的余裕がなかった。
- ・固定化された人間関係の中での集団づくりや人間関係づくりの研修が更に必要である。そのために、校外の研修会参加やSCの活用を推進する。
- ・いじめを許さない環境づくりについて研修を通して考えていきたい。また、実践しているいじめに関わる取組の効果について検証していきたい。
- ・生徒指導部だけでなく多くの教職員に案内をする。例えば、一度参加したことがある研修に関しては、生徒指導部に関わらず、初めて参加する教職員に優先的に参加してもらう。

被害者・加害者以外の児童生徒の当事者意識について【8校】

- ・いじめを許さない学級集団作り(ひとりひとりの所属感とクラスとしての連帯感を高める取組)に力を入れる。また、生徒会の活動の一つとして「いじめ0宣言」を行い、生徒ひとりひとりに考える機会をもたせる。
- ・加害、被害のフォローはできたが、それを取り巻く周りに対してうまく対策がとれるといい。
- ・いじめを扱う授業について、学年ごとに題材等を決め、学校全体で「いじめを許さない雰囲気」を作っていく。いじめ防止強調週間の設定など。
- ・人権意識の高揚を図るための人権集会や道徳の授業の充実と実践。
- ・校内研修の中で、いじめの構造や対応などについての理解を深め、生徒に自分たちの問題として考えさせることができるようにする。
- ・人権集会や道徳の授業を通して、いじめ問題に対する課題意識を高められる指導について考え、工夫する。
- ・取組はそれぞれ行っていると思うが、いじめの構造の理解や自分事として捉えることなどが十分できていない。小学校での取組も含めて、継続的に行う必要がある。中学校においても、生徒の実態に応じた年間計画や3か年計画を立てて取り組むとよいと思う。
- ・いじめについて授業などで学ぶ機会はあったが、それが日常的な意識につながるよう授業や機会を捉えて指導していく。

児童生徒や保護者が相談しやすい関係や環境づくりについて【5校】

- ・多忙なので、生徒が声をかけづらい雰囲気を出しているかも知れないと感じる。声をかけやすいよう生徒の前ではゆったりとした雰囲気を出すようにしたい。
- ・個々により取組に差があるので、教職員同士で情報共有をし、更に連携を深める。
- ・生徒が日々の生活に充実感を持たせることができるように、各々の教職員が、授業づくりをはじめ、人間関係づくり、部活動運営、生徒会行事などの取組法を工夫していく。
- ・教員の人手不足で、目の行き届かないところで問題が起きる。子どもの悩みや気持ちをしっかり受け止める余裕が持てない実情に課題がある。人員増が望ましいが、子どもの心にしっかり寄り添う共通認識が必要。また、ゆとり時間をとって話す機会を設けることが課題。
- ・普段の業務に追われ、落ち着いて相談を聞くことや、聞く環境を作れていない。教育相談等は希望制を取り入れ、担任に固定せずに、多くの教職員で対応する。

その他の意見等

- ・アンケートQUの結果について、学年部や全体でもっと情報共有を行う。
- ・組織的対応はできているが、さらにきめ細かな情報共有をしていく。

〔高等学校〕次年度に向けての課題・改善点(具体的な改善案)

- ・いじめの認知や認定に関する事項を年度当初にはっきりさせる。
- ・校内での仕事量が多く、研修に参加できる時間が限られている。研修の機会をより多く設定してもらいたい。研修に積極的に参加したい。
- ・保護者の方に正しく理解していただくことが難しい場合があり、対応に苦慮した。